

2019 年度事業計画（幼稚園）

<p>1. 基本方針</p> <p>広島女学院ゲーンズ幼稚園は、</p> <p>○子ども一人ひとりが、神様から愛されたかけがえのない存在であることを知り、受け入れられていることを感じる。 ○身近な自然や環境との関わりを通して、健康な心身を育み、豊かな情操を培う。</p> <p>○子どもが、お互いの個性の違いを認め合い、共に育ちあう。</p> <p>ことを目標とする。</p> <p>この目標を達成するために2018－2022年度の5か年で、（1）キリスト教保育の実践、（2）持続可能な幼稚園の実現に向けた取り組み、（3）開園130周年記念事業に取り組む。その初年度、2018年度は</p> <p>①キリスト教保育についての実践的共通理解 ②新任教員研修計画の改訂 ③子育て支援センター構想 ④職務の合理化・省力化 ⑤施設設備計画 ⑥130周年記念事業計画策定 に取り組むこととする。</p>			
<p>2. 具体的アクション</p>			
第2次中期計画（行動計画）	2019年度事業計画	目標達成のための手段等	具体的な目標（数値目標）
<p>（1）キリスト教保育の実践</p> <p>ア 全教職員による建学の精神の理解</p> <p>イ 新任研修計画と保育内容データベース活用</p> <p>（2）持続可能な幼稚園の実現</p> <p>ア 子育て支援諸活動と幼大連携の連動プロジェクトの推進</p> <p>イ 業務体制の見直し・業務の効率化</p> <p>ウ 施設・設備計画</p>	<p>① キリスト教保育についての実践的共通理解</p> <p>9クラス担任9名のうち、新任教員3名、2年目2名、3年目2名、10年以上2名という体制であり、若い世代が本園のキリスト教保育の実践を担うことを踏まえ、若手保育者自身が神様に愛されている安心感を抱くことができることに重点を置きながら、子どもたち共にイエス様と出会うことができるようになる。</p> <p>② 新任教員研修計画―第2段階</p> <p>建学の精神、教育課程、各学年の年間指導計画、クラス運営と保育内容が連動し、一つひとつのプログラムにつながっていることが手に取るようにわかり、マニュアルを活用する部分と保育者自身が主体的に指導することができる部分とが融合するようになる。</p> <p>③ 他園、他養成機関が実践している『子育て支援センター活動』の調査結果から、大学との連携が鍵であることが判明してきた。大学関係者との連携を深めていけるよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育時間終了後、安心して過ごせる環境づくりに段階的に取り組みの継続。 ・育児相談と居場所づくりの継続。 ・幼大連携による子育て支援を実現するための環境整備の継続。 <p>④ 職務の合理化・省力化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業の業務効率化計画を立てる。現在、保育情報管理システム「れんらくアプリ」と、別ソフトによる保育料計算の二本立てで事務業務を行っているが、「れんらくアプリ」に一本化するための環境整備を行う。 <p>⑤ 施設設備計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 空調の段階的更新 2) 照明のLED化、第1年次 	<p>① 以下の3つの指導の重点に関して、こまやかにPDCAを回していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを丸ごと受容し、共感的にかかわる ・祈りを中心とした生活 ・自由遊びの環境構成 <p>② 各学年でのカンファレンスを、回数は重ねつつ、時間は短く、丁寧に行っていく。</p> <p>③ 量的に拡大する預かり利用児の居場所づくり、生活動線の視点、安全管理の視点から見た子育て支援専用スペースの計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援活動を充実させるため、預かり利用料時間単価を値上げする計画を立てる。2020年度より現在100円/30分 → 120円/30分 *参考、預かり保育補助上限 11,300円 <p>④ アマノ（株）の保育料、預かり利用料算出を、「れんらくアプリ」に一本化することで、二重業務の負担を軽減。</p> <p>⑤ 施設設備整備計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調の更新計画二年次（ひつじ組、りす組） ・幼稚園ホール照明をLED化する。 ・次年度以降の、LED化の具体案を立てる。 	

<p>(3) 開園 130 周年記念事業の推進</p>	<p>⑥ 外遊び環境整備、2 年次</p> <p>⑦ 建具</p> <p>5) 屋根の塗り替え計画</p> <p>6) 雨水利用計画</p> <p>⑧ 幼稚園開園 130 周年記念事業 (2022 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育記録、園の取り組みの事業内容を取りまとめる <p>第 1 弾『水辺の物語』の出版</p> <p>『食育—土づくり、園芸、果樹、おやつ作り (仮称)』</p> <p>『根を育てる—ケヤキの木の物語』</p> <p>『ぼうけんのもり—単一性と多様性』</p> <p>『いのち—身近な動物との出会い』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年少保育室前の水道施設の安全化対策と、遊び空間の確保 ・ ケヤキのツリーハウスとカラカラデッキの環境整備 ・ 更新の必要な箇所から新しい建具に入れ換えを行う。 ・ 屋根塗り替えの計画を立て、時期、費用等の検討を行う。 ・ 雨水を利用した水遊び環境の整備 <p>⑥ 第 1 弾『水辺の物語』の出版と、第 2 弾『食育—土づくり、園芸、果樹、おやつ作り (仮称)』の編集開始</p>	
-----------------------------	--	---	--